

Post COP 8 Seminar
IGES / GISPRI
November 28, 2002; 東海大学校友会館



An Analysis of COP 8 and Beyond

COP 8 交渉の「行間」をどう読むべきか？ — 新たな動きの胎動 ?!

IGES / GISPRI

Visiting Senior Research Fellow

Climate Experts [Advisory Service on Climate Strategy]

Chair, Senior Research Fellow

松尾 直樹

E-mail: n_matsuo@climate-experts.info

<http://www.climate-experts.info/>



COP 8 に期待したもの

- インドによるホスト
 - マラケシュにおいて京都体制のルールがほぼ完成
 - What comes NEXT ?
 - 発展途上国の参加問題への「みち」の糸口が見えるか？
 - 「条約の既存のコミットメントの十分性」が交渉のテーブルに？
 - 将来の大幅削減の必要性を指摘する IPCC 副議長に
インドのパチャウリ氏が就任してから最初の COP
 - インド政府としての「成果」とは？
- 動き出す CDM
 - CDM 理事会 一年間の成果と 民間部門の動き
- 周辺状況
 - ロシアの動き？ (批准動向, クリーンエネルギー輸出問題)
 - EU 国内排出権取引制度 関連情報



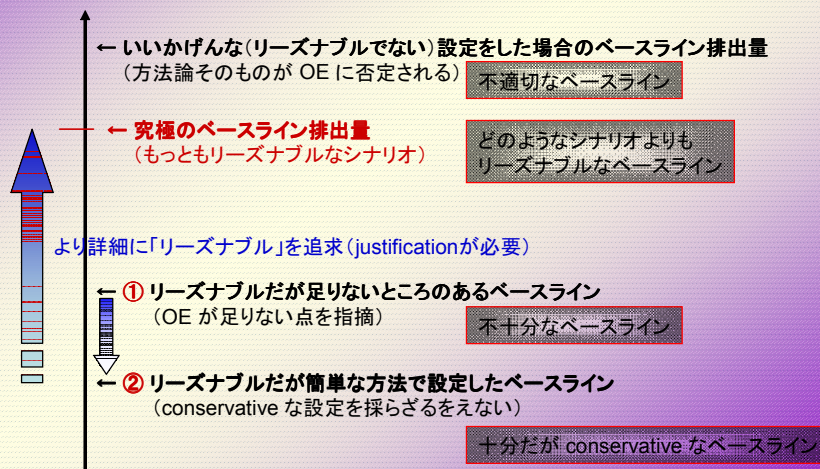
動き出す CDM

- 2003年は CDM 元年に
 - CDM 理事会の作業は遅れ気味ながらも、整備されてきている
 - サイドイベント ← 具体的なプロジェクトをベースにした話が多い
- 残された大きな課題
 - キャパシティービルディング
 - 理事会, パネル, 専門家, OE, プロジェクト参加者
 - ベースライン設定にかかわる点
 - 高品質 Baseline: CDMスキームの信頼性 + より多くの CERS
 - リーズナブルと justification できない → 門前払いも
 - どれだけの CDM プロジェクトを動き出すことができるか?
 - 数・量・経験...
 - 国内インセンティブフレームワークを待っていては遅い?!



CDM ベースラインの考え方

ベースライン排出量





将来のコミットメントの発展

- 条約のコミットメントの十分性交渉は、また延期
- 「デリー宣言」も、かなり途上国の主張どおりの内容
 - EU も、政治的モーメンタム維持を重視
- 場外では、いくつか「動き」が見られてきた
 - IEA, WRI の本
 - MOFA/IGES の非公式会合(7月)
 - 韓国外務省/KEEI/IGES の専門家会合(11月)
- 今後の重要な視点
 - 京都議定書の第2期目標交渉 (COP 10=COP/MOP 2 ~ COP 13)
 - どれだけ事前にテーブルの上にオプションを並べられるか?
 - 途上国の参加問題
 - キャロットをどう仕組むか? 【ホットエア-???
 - 交渉のトリガー? 【条約 4.2(d), 4.2(f), 4.2(g), 7.2(a),(e), KP 9】



国内排出権取引制度および市場の動向

- EU 域内排出権取引制度
 - 12月の閣僚理事会で方向性が示される
 - 欧州委員会オリジナル提案 + 欧州議会による修正案
 - サイドイベントでは、大きな動きはなし
- オランダの国内割当方法検討
 - ERUPT/CERUPT + いくつかのクレジット獲得制度
 - 差し迫った具体的課題として取り組んでいる(経済省)
- WRI/WBCSD による企業単位 GHG 排出モニタリング
- 排出権市場
 - トランザクションの数は、大きく伸びてきている
 - ボランタリー削減 → 国の主権・国際枠組み下の市場へ
 - Shell, BP の社内排出権取引は幕 ← 十分に経験は蓄積



気になる米国の動き

- 交渉スタンス
 - COP 6.5 のスタンスから明らかに一步踏み出してきている
 - 京都議定書マターにも 発言しはじめた
 - デリー宣言交渉における不思議な動き
 - 途上国側のスタンスをサポートした ?!
 - 今までの公式スタンスと 180° 異なっている
- 解釈
 - 自らへのプレッシャーを避けるために途上国をサポート ???
 - 交渉の外側にいることに耐えられなくなった ???
 - 戦略を持って動き始めた ???
 - 議定書体制の発展を妨害 ????????



COP 9 = COP/MOP 1 に向けての注目点

- 12月のイベント
 - EU 閣僚理事会, 韓国大統領選, カナダ批准
- 2003年 8月末までにロシアが批准するか?
- ロシアの京都メカニズム参加要件状況
- どのくらいの CDM プロジェクトが動き出すか?
- シンク問題の結論(国内シンク, CDM シンク)
- 国内制度整備の動き
 - 日本【税金 & 2004年 政策レビューの動き(排出権取引制度)】
 - 海外【特に EU. 2005年開始が可能か? 日本との政策協調?】
- 第2期目標の議論
 - 検討は早ければ早いほどよい